

第3回 高齢者支援ネットワーク懇話会 議事録（要旨）

■開催日時 平成23年9月28日（火） 午後3時00分～4時30分

■開催場所 役場3階大会議室

■出席者 委員～12名、町～18名

委員	山瀬 稔	○	石川健吾	○	岩田有子	○	大西恵子	○	岡村省吾	○
	河原綾子	×	林 博六	○	廣部健二	○	松田敷子	○	三栖和之	○
	山本暉人	○	中西奈井江支所長（代理）			○	箕下商工会事務局長（代理）			○
町	北町長、三本副町長 南課長、 岩口課長、川股局長、馬場係長、井内主事、 小澤課長、本田係長、石塚保健師、渡辺主査、 畠山係長、 林事務局長、 碓井課長、相澤係長、遠藤主事、星野主事、都築主事									

1. 開 会（碓井課長）

本日はご多用の中ご出席いただきまして、ありがとうございます。定時になりましたので、ただ今より第3回、高齢者支援ネットワーク懇話会を開催させていただきます。

座長よりご挨拶いただき、はじめたいと思います。

2. 座長挨拶

委員の皆さんにおかれましては、何かとご多用の中、お集まりをいただきありがとうございます。この懇話会も、今日で3回目を迎えます。当初の予定では、行政サービスについて2回の意見交換を行い、3回目には民間サービスや各種団体、地域のことなどについて、意見交換を行う予定でありましたが、2回目のときに、山田真知子さんの講演を行ったので、前回、ご案内したように引き続き今回も、行政サービスを中心とした意見交換を行い、民間サービス等については次回に行いたいと思いますので、よろしくお願いします。

2. 町長挨拶

9月14日に開催された、第3回定例 町議会で、（仮称）地域 活性化ホール建設に関する基本計画の策定 委託料 3,150千円を計上し、議決をいただいたので、この経過と基本的な考え方について、ご説明をさせていただきます。昨年の町長選挙における公約として「町民全体で、連携・支え合う高齢者対策」の推進を掲げ、本年度の町政執行方針においても、「高齢者の生活や 介護の不安の解消に向けた対策を 民間のサービス、地域のコミュニティを結びつけて検討する」とし、これに対する議員からの総括質問においても「商工会やJA新砂川との連携しながら、可能なものは、随時、実行していきたい」と答弁をしてきたところです。

6月14日には、高齢者支援ネットワーク懇話会を立ち上げ、皆さんとともにこの高齢者問題について、行政と民間業者、そして地域が協力し、支えていくための、大きな視点を持った町の方向性について、ご議論をいただきました。

そのなかで大きな課題として、『高齢者が孤独感を感じている』『買い物難民』など奈井江町に照らし合わせた対応の必要性について、強く感じてきたところです。

また、この検討を進める中で、J A新砂川においては、Aコープ奈井江店の店舗の建て替えを模索する一方で、空知太店の閉店などもあり、奈井江店のあり方も議論になっていることを伺っています。このような情勢を考えたとき、町の核となる店舗の議論に危機感を感じ、その対応策として、行政としても 何らかの中心地域の検討が必要と感じたところです。そこで、J A新砂川・杉本組合長と協議をし、J A内部の了解を得て、奈井江店の店舗裏の倉庫群の用地を利用して、どんな活用ができるのか “絵を描くこと” にした次第です。

決して、J Aを助成するということではなく、J Aに地域に貢献してもらおうということで、高齢者に対する支援や健康づくりや若い年代の人たちも利用できる施設のあり方など商工会との連携も深めながら、町の活性化が図られるよう地域コミュニティの拠点として、町民生活に寄与する施設の在り方を検討してみたい、というものです。この基本計画の策定には、皆さんにもご参加をいただきながら、来年度予算に間に合うよう年内に構想を立て、平成 24 年度予算において、実施設計、建設が可能となるように検討を進めていきたい。

今までの懇話会の中でも、「気軽に出かけられて、誰かに会え、サロンのようなお茶を飲んで話ができる場所が必要」というご意見がありました。こういったことを参考にしながら、まずは基本構想の素案を作り、11 月頃になろうかと思うが、その段階で、改めて皆さんからご意見をいただきながら、素案を練り上げ、より良いものにしていきたいと考えている。皆さんのご理解とご協力をいただきたいと思います。

(座 長) これより、議題に入りたいと思います。はじめに事務局から、今まで出てきたご意見について、確認の意味で説明をしてもらいます。

3. 議 題

①今までの意見交換の内容

- ・ 前回までの経過と意見交換～相澤係長より説明【資料 1】
- ・ 福祉バスの運行状況、温泉入浴券～岩口おもいやり課長より説明
- ・ 災害時要援護者支援計画について～碓井まちづくり課長より説明【資料 2】

(座 長) まずは今、事務局より説明があった点について、皆さんから、ご質問やご意見を受けたいと思います。

(岡村委員) これから数年それぞれの地域で、私たちが掴んでいないネットワークがあると思います。例えば、東町のごみ収集は有名で、とてもいいケースですね。町内には他にも隣近所で支え合ったり助け合ったりしていることがきっとあると思うんですよ。それをどこで聞いて集約していくのか。ひとつひとつは小さいのですが、現状を把握していくか、それをどう活かしていくのかと思います。

(山本委員) 1 回目に出た介護施設の待機者が 100 名以上いるということですが、この方々に対して行政では対策を講じているのかということ。過去に新たに施設を建設するのは不可能なので、民間の医療法人などを誘致してはという要望を出したことがあります。自分の希望する施設に入所するにも 1 年～1 年半待ちとなっています。

札幌では、介護療養系の病院があちこちに建設されています。奈井江町にしても、土地はあると思うので、何らかの条件をつけて、そのような企業に進出してもらえないかと思っています。

(北町長) 介護施設の待機者については、実際に在宅での待機者が何名いるのかということですが、奈井江町には療養型病床が30床あり入院されている方や、老人保健施設に入所している方々もやすらぎの家に入所したいと希望している方もいます。在宅の待機している方は17名いるそうです。民間企業の誘致も一つの方法だと思いますが、なかなか難しい事だと思います。

12月にオープンするのですが、奈井江町出身の方で高齢者の賃貸住宅を建築しています。建築主より採算はないのだが、自分は奈井江町出身だからということで奈井江町に建設するというお話を直接伺いました。現在12床建築し、さらに8床追加したいとのお話もしていました。このような事業に対しても町として何らかの協力をしなければいけないと思ってもいます。

(松田委員) 北町のしらかば運動教室が月に1回あるのですが、なかなか行けない日もあるので、できれば月2回くらいに増やして欲しいと思います。

(小澤事務長) 地域のみなさんと月1回保健師がお邪魔して健康づくりをさせていただいています。現在北町と同じように全町的に運動教室を開催しており、連合区単位で保健師と共に専門の健康運動指導士で回っています。回数の増加については、保健師の人数にも限りがありますし、必ずしもご期待に添えるか分かりませんが、できるだけ地域主体で自主的な活動になっていき、そこに行政として支援していくという方向に向かうことができればと思っています。

(松田委員) 運動指導を受けていると、脳の活性化に繋がるんですね。体と脳のバランスですよ、年を取っていくと頭で考えていても体が動かなくなってくるので、運動教室はとてもいい事業だと思います。

(岩田委員) 先ほど出た高齢者の民間のアパートについて、私たちのサークルでは完成が楽しみだという話が出ています。奈井江町では、このような高齢者向けのアパートは補助金は出しているのでしょうか。

(碓井課長) 定住対策として、アパートなど集合住宅の建設を支援したいということで、ここ1、2年で制度は充実してきています。1戸あたり、ある一定の面積要件などを満たした、イメージとしては『ひだまり』くらいの居室面積の基準で1戸あたり40万円を補助、というものがあります。

あと、現在町内企業において、事業の拡大に伴う従業員の宿舍の建設を行っており、その宿舍へも補助を行っています。高齢者向けということで、廊下や階段に手すりだとか、段差を解消しているという住宅に関してはさらに10万円を加算する

など、支援を充実させながら若い方からお年寄りまで、町の人口増に繋がるように定住対策の一環として進めているところです。

②行政サービスに関する意見交換

(座長) 2番目の『②行政サービスに関する意見交換』に入りますが、①でご説明した以外に追加する点など、ご意見をいただきたいと思いますが、高齢者に関するサービスは、行政だけではなく、「民間」や「地域」などと共に成り立っている部分が少なからずあると思います。前回までに出た「民間サービス」と「地域コミュニティ」に関するご意見について、確認をしておきたいと思いますので、事務局より説明をお願いします。

(相澤係長) 3ページをご覧ください。民間サービスと地域コミュニティということで、記しています。1回目、2回目に委員の皆さんからいただいたご意見となります。民間サービスというところでは、自宅で注文し、宅配してくれるサービスをとというご意見や、移動販売者について、検討してくれないかというご意見がありました。

地域コミュニティ、地域の繋がりということで、震災以降、横と横との助け合いが重要であると感じたとか、ご近所の力が大事とは思いますが、なかなか近所だけでは大変だという現状とか、気軽に出かけられて、誰かと会ってサロンのようにお茶を飲みながら話ができる場所があればいいというご意見もありました。あと、老人クラブの皆さんの要望を聞いてはというご意見もありました。社会福祉協議会ということで、主にシルバー人材センターについてなのですが、利用者の意向を反映するようにしてほしいというご意見をいただきました。

その他についてですが、老朽化住宅対策や空き屋対策として、本当は所有者個人の問題なのですが、危険な場合については心配だというご意見もいただきました。

(三栖委員) 老人クラブについて、老人の人口が増えているのに、長年行っている寿学級の参加人数が減っています。年齢も70歳以上にならないとクラブに加入しないし、活動も出来なくなってきました。寿学級の内容について、ある程度有名な講師を呼べば参加者も増えるのではと思っています。事業の内容によっては寿学級に行かないと言う会員も中にはいるんですね。事業内容の検討もお願いしたいと思います。

(三本副町長) 十数年前に高齢者の支援対策としてアメリカなどでも新聞報道で出たのですが、リタイアした方々でもダンスの先生とか、専門的な事を行った方が先生になって行るとか、その団体の中でお互いに高めあい、それが活性化に繋がるということで今まで進めてきたという経過があると思います。しかし、先ほど言われたとおり、これだけ情報化が進んだ中で、テレビ見ていた方が、ハイレベルな情報が入ってくると言うのも事実ですので、単純に予算をつけて有名な人を呼べばいいのかというと、その時だけはいいいのかもしれませんが、それだけの問題ではないと思いますので、教育委員会の中でもよく検討させていただきたいと思います。

- (北町長) 老人クラブにはいると、人の世話とか、気づかいをしなければならないとか、何かと制約があるから入らないという話も聞いたりします。
- (廣部委員) 寿学級は今年始めて自分も入りましたが、入ってみて感じたことは、教育委員会も事業がマンネリしていると感じました。6月に落語家が来たときなのですが、会場が公民館だったんですよね。私なら、文化ホールを会場にしてやり、寿学級だけでなく、会員以外の落語の好きな方にもPRして来てもらうなど工夫をしてはと思いました。もっと幅広い形で行うなどアイデアを出し合ったらいいと思います。
- (筧下代理) 商工会としても、何かの形で支援出来ればと思いますし、寿学級についても、文化ホールをこれからどんどん使ってほしいと思いますね。
- (大西委員) 前回にも、近所の家が傾いているというお話をさせていただいたのですが、自宅のお隣の家の方にも、「壁にヒビが入っているよ」とお話をしていたのですが、当人は「屋根のペンキを塗ったからいい」と言っていたのです。しかし、後になってきて前壁が落ちたんですね。家の横の壁も膨らんできて、専門業者も来てもらい修繕することになりました。このような老朽化した、特に公共道路に面している一軒家などは、危険も伴いますので、何らかの形で指導をしたり、関わったりすることも必要だと思っています。
- (北町長) 先日のお話を伺ったので、事情をお伺いしました。お子さんや親戚などの関係もお聞きしましたが、今すぐには難しいようです。でもこれからも粘り強く話し合いをしていきたいと思っています。
- (林委員) 老人クラブの人数の低下については、どこも同じだと思うのですが、役員をしたくなくて入らないという人も多し、役職が多すぎると思うんですね。それでなくても農村地区はそもそも人数が少ないので、行政の方からもそのような提案をしていただければ動きやすいのですが。
- (石川委員) 老人クラブとか、寿学級とかに参加している方はお友達がいたりとかしていいのですが、それらに参加していないような孤立している方を何とか支援できないのかということを考えなければなりませんよね。
- (岩田委員) 知り合いに高齢の夫婦世帯がいらっしゃいまして、ご主人が長年病気だったので、家から出掛けられないという方がいました。ご主人の病気が良くなって段階で80歳くらいの年齢になっていて、実は筋トレに行くのが楽しみだ、ということ道を会うたびにお話しています。自分も運動フロアを利用させてもらっていますが、一緒に通っていた中で来られなくなっている方も何人かいました。それは、保健センターへの足がなくなってしまったからですね。車と一緒に乗せてあげると言っても、そこが負担になるし、北町のように地域で開催していただければいいのですが。

どんな形でも、保健センターまでくる乗り合いのタクシーがあれば、途中でやめることなく続けていけるのではと思っています。

(小澤事務長) 保健センターで高齢者を対象に3ヶ月の筋力トレーニングを行っています。足の問題については、私の耳にも入っています。今後どのように考えていくかも重要な事だと思いますし、検討させていただきたいと思います。

(三本副町長) 資料にも記載していましたが、タクシーの乗り合わせやバスで行き帰りするシステムをとということで、買い物や病院の通院も含めてトータルで考えていき、高齢者の足の問題について役場でも検討チームづくり、もちろん皆さんからの意見も取り入れながら、考えていきたいと思っています。

(碓井課長) 先ほど話が出ましたが、地域公共交通について、今は向ヶ丘線ですが、ここ数年の流れとして交通の空白地域とか、足が不足している地域に対し自治体が車を走らせて、その実証実験に対して国が補助を出すということです。実験の結果そこそ採算がとれるということで本スタートさせます。しかし、どの自治体もなかなかうまくいかず、実際に運行を始めると大きな赤字を抱えるのは目に見えているということで、1～2台走らせるだけで数千万円かかるというのが現実なんですね。

経常経費には国の補助金はなかったのですが、国の制度が今年変わりました、実証実験プラス、実際の運行にかかる経費についても、一部補助されることになりました。ここ1、2年かけてじっくり考えたいというのは、例えば農村地域をどうするか、市街地内での移動をどうするか性質が異なると思います。

奈井江町には現在中央バスやJRも走っています。また、町には福祉バスやスクールバスもありますので、それらを含めて総体的に捉え、実現可能な範囲での交通システムづくりをつくりあげるのか、今後の高齢化社会に向けて買い物や通院などの足の問題を結びつけていくかということ大きな課題ですが、先進地の事例も含めて考えたいと思っています。

③ (仮称) 地域活性化ホール検討について (相澤係長より説明【資料3】)

(座 長) 事務局から説明がありました地域活性化ホールについて、皆さんからご意見がありましたらお願いします。

(松田委員) この設計図ではわからないのですが、具体的な建物の中については構想を練っているのでしょうか。お年寄りが気軽に入ることが出来て、お話やお茶を飲むスペースが出来るというのですが、料金がかかるのか、みんなが期待しているところです。

(副 町 長) 構想をつくる予算を今回つけたということで先ほど町長からお話がありまして、ご質問の実際にどのくらいの規模の建物を想定しているか、ということはこれからつくっていきます。11月にはコンサルから提案があり、まとめて概要を作った上で、皆さんにお見せしてご意見をいただきたいと思っています。

- (北 町 長) 本町には会館がなく、地震があったときなど耐震が備わった施設なのかという意見も聞かれています。町も過疎化していき、買い物する店も減ってきています。農協の組合長とも話をしていたのですが、地域に貢献してください、倉庫を整理をしてください、との申し入れをしたところです。農協でも内部協議をしてもらい、地域住民のために考えたいということで、25年度建設に向けて協議してるところです。
- (大西委員) 規模は公民館の大ホールでは大きすぎる、文化ホールでは、ダンスが出来ない。ダンスサークルなどで使用できるしっかりとした床のところが欲しいというのを聞きました。
- (岩田委員) サークル等の集う場所として公民館・文化ホール・体育館・やすらぎの家・子育て支援センター・駅前の喫茶店などではコーヒーをいただきながら利用しています。コミュニティ会館が有料となり自分たちで掃除することになるのであれば、文化ホールを借りた方が楽との話もできます。先ほど言った今ある施設と競合しない施設をと思っています。
- (北 町 長) 奈井江町では年間 80～100 名の方がお亡くなりになられています。その葬儀のほとんどが町外で行われ、それに伴う買い物も町外となっております。地元でできる葬儀をとの要望もありましたことを踏まえ、皆さんのご意見を聞きながら考えていきたいと思っています。
- (岡村委員) 大変いい構想だと思います。先ほど少しお話ありました、使用料のことがやはり気にかかります。奈井江町は施設の使用料がとても安いと感じていますので、できるだけ文化ホールのような料金設定にしてほしいと思います。
- (笥下代理) 新しい施設では寿学級ができたり、老人クラブで集いなど、分散化でき、また、大きい事業を行うときはパーテーションを取り外して一つの会場にできるような構造になればと思っています。
- (碓井課長) 次回には民間サービスや地域コミュニティについても掘り下げてお話出来ればと思っています。地域活性化ホールについての途中経過も含めて皆さんに情報提供できればと思っていますので、よろしくお願いします。
- (座 長) 予定時間も来ましたので、第3回の高齢者支援ネットワーク懇話会を終了したいと思います。本日はありがとうございました。